

## 令和4年度 自己評価結果公表シート

### 1. 本園の教育目標

本園では、0歳児から5歳児まで、一貫した保育・教育の実践を目指し、様々な遊びを通して経験を積みながら、子どもの学び・成長を支えるという方針の基、園目標を「心やさしく元気な子ども」とし、育てたい子どもの姿を、思いやりのある子ども、元気いっぱい遊ぶ子ども、そして、（やりたいことを）自分で見つけ（色々なことに興味関心をもって）考える子どもと設定している。個々の子どもの発達の特徴をしっかりと把握し、子どもの育ちを支えていく環境としての保育者のあり方を探っていききたい。

一人一人が笑顔で登園し、楽しく遊び、充実した園生活が送れる環境をつくり、安心・安全な保育に努めていきたい。

### 2. 本年度重点的に取り組む目標や計画

一人一人の思いや考えを大切に、「心と体を十分に働かせた多様な遊びを体験」（今年度の重点）できるような環境作りに取り組む。保育者は保育・教育環境そのものであることから、保育者の力量を高めていきたい。また、園の取組について、適切な情報発信に心がけ、保護者との信頼関係を深めていきたい。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	結果	取組状況
1	幼児が多様な体験ができるような環境を設定する。	B	子どもが遊びを十分楽しめる環境設定に努力したが、指導計画をチームで見直すP（計画）D（実行）C（評価）A（改善）に取り組む実践を重ねたい。
2	主体的に学び続ける保育者を目指した研修に心がける。	B	幼児と共に育つ保育者を目指し、園内外の研修に参加しているが、協議して深める場や伝え合う場の必要性を感じる。現場研修の一層の充実に取り組みたい。
3	保護者との信頼関係を深めるための情報発信や日頃の会話を充実する。	A	毎月の園便りや学年便りをホームページにアップしたり、連絡事項を素早くメール配信したりしている。また、コロナ禍で、対面しての会話が不足しており、連絡帳の活用や送迎時の会話を大切にしている。加えて、懇談会の内容に工夫を加え、個人面談等を充実していきたい。

A 十分達成    B 達成    C 成果が十分でない    D 取組が不十分

#### 4. 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>園での自己評価項目が16項目(58節)あるが、もっと絞り込んだものにして、重点を明確化し、課題の「見える化」に努めたい。</p> <p>また、保育者の資質を高めるために、協議の進め方を工夫していきたい。例えば、意見を幾つかにまとめたものから協議を開始したり、自分の意見をもって参加するなど、研修に対して前向きな参加姿勢を育てていきたい。</p>

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育課程・指導計画	<p>0～5歳までの一貫した保育・教育を展開していくため、全体計画や年間指導計画(期別)をより意識した実践が求められる。また、幼保小連携のためのアプローチカリキュラムの理解・実践を深めていきたい。</p>
安心・安全な園生活のためのマニュアル等の見直し	<p>園生活のなかで、リスクの高い場面での注意事項を洗い出し、マニュアル化していきたい。例えば、午睡・食事(アレルギー対応)・園庭や園外活動・バスでの送迎に関する諸注意・不審者対応等。ヒアリハットの事例を振り返る機会を設定したい。</p>
現場研修の充実	<p>学年チームでの情報交換を活発にし、学んだことを記録するように心がけたい。若い保育者を育てるために、指導場面があるときは、短時間でも打合せをし、次に生きるようにしたい。</p>